

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和４年度第３回佐渡市脱炭素推進会議
開催日時	令和５年２月１０日（金） 午後１３時３０分開会 午後１５時００分閉会
場所	新穂行政サービスセンター
議題	（１）脱炭素先行地域づくり事業の進捗報告 （２）戦略３部会の検討報告 （３）令和４年度に市が実施した、情報発信・意識啓発に関する取組
会議の公開・非公開	公開
出席者	東北電力ネットワーク(株)佐渡電力センター 東北電力ソーラーｅチャージ(株) 佐渡ガス(株) 静岡ガス(株) 佐渡市地域循環社会推進協議会 (株)アドバンテック 新潟県電気工事工業組合佐渡支部　中務商店 渡辺産商(株) 佐渡連合商工会 尾畑酒造(株) 佐渡汽船(株) (一社)佐渡観光交流機構 (株)第四北越銀行 新潟県　創業・イノベーション推進課 新潟県　環境政策課 佐渡地域振興局 ＜佐渡市＞ 企画財政部長　猪股雄司 ＜事務局＞ ・佐渡市　総合政策課　地域エネルギー係　係長　渡部達也 総合政策課　地域エネルギー係　主事　北見航希 ・大日本コンサルタント(株)
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	０人

備考	
----	--

会議の概要（主な発言等）	
1	開会
2	議題 1）脱炭素先行地域づくり事業の進捗報告 ・事務局より説明。 議題 2）戦略 3 部会の検討報告 ・戦略 3 部会での議論の内容について各部会長から説明。 意見交換等） ・再エネ導入効果の見える化の取組は、太陽光の利活用について目に見える良い情報発信と思う。地域エネルギー会社の設立については、東北電力との協議も必要なため、少しずつ議論を進めていければと思う。 ・電気小売事業は、今の段階で実施できるかわからない状況で、東北電力に相談を始めたところであり、今後の協議次第となる。新会社は、PPA 事業から着手して次に再エネ電源を持つということが重要となるが、事業体がないと議論を進めることができないので、まずは会社設立が必要と考えている。会社設立に向けた事業計画の検討は、参画のご意向がある会社に加わっていただきつつ、調整等を進めたい。 ・佐渡で再エネ供給を自立化するためには、太陽光以外の電源も相当確保する必要がある。一番大きな目標はどのようにエネルギーミックスをするのかだが、そこに東北電力も入っていただき、事業を進めることが重要と思う。 ・新会社設立の事業として、まずは PPA を主軸に事業を進めるとのことだが、PPA 事業の収益は必ずしも高くはないと思っている。需要先に高い電気料金をお願いすれば儲かるが実際は難しく、事業計画を立てるのが難しい。通常のエネルギー会社の事業の進め方として、まず電源開発と売電があり、PPA 事業は付帯的なものになると認識している。また、離島は設備工事費が高いというのが課題であると思う。 ・本土から工事業者を遠征させると地域貢献の面から外れてしまうことになる。PPA 事業となる建物屋根への太陽光の設置は FIT の野立とは異なり採算的に厳しいが、本事業は地域のために行う必要があるので地元工事業者の参画は重要と思う。 ・どのような形で会社設立をしていくのか、議論を進めるべきと思う。ご賛同いただける企業間での協力と議論が必要であり、その中から東北電力と協議を進める新会社が設立できれば良いと思う。

議題３）令和４年度に市が実施した、情報発信・意識啓発に関する取組

- ・事務局より説明。

意見交換等）

- ・情報発信部会としては意見等を求めながら具体的な取り組みを進めていくことになっていくが、具体的なスケジュールを立てて進めていくことが重要だと考えている。
- ・シンポジウム等での普及啓発活動だが、市民の方にどのようにご理解をしていただくかが必要と思う。小学生向けセミナーなどもあるが、どのようにやっていくのかがポイントで、計画的に進めていければと思う。